

地域に貢献する事業へのチャレンジ

今後、事業づくりや地域づくりにとって、環境の視点や現在の地域課題を解決していく取り組みは必要不可欠です。

兵庫県等から構成されるひょうご持続可能地域づくり機構では、これまで、但馬地域を中心に次の次代を担う人材育成講座を実施してきましたが、この度、地域での実践されている先駆者の方を講師にお招きして、西播磨地区での初めてキックオフ講座として、開催することとなりました。

環境の視点・経済の視点から、「持続可能な事業・地域づくり」が気になる方々、ぜひお誘いあわせの上、御参加ください。

2月17日(土) 13:30～16:00

公益財団法人 姫路・西はりま地場産業センター
5階 502 会議室(姫路市南駅前町 123 番)

「地域に貢献する
新たな事業づくりを学ぶ」

講演 13:35～

地域事業者だから出来る新たな事業
～健全で豊かな森林づくりへのチャレンジを通じて～
長瀬 雅彦 氏

(たかやま林業・建設協同組合専務理事)

14:45～

社会に貢献する事業づくりとは？

* ひょうご 地域課題×エネルギー 実践スクールについて
も説明します。

戸田 幸典

(ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0) 事務局長)

2月18日(日) 13:30～15:30

ひょうご環境体験館
(兵庫県佐用郡佐用町 光都 1丁目 330-3)

「新たな技術で地域課題を解決！？する」

講演 13:35～

近頃話題の IoT とは？

～IoTの基礎から活用した獣害対策など～

西口 重孝 氏

(株式会社ジューコー 代表取締役)

14:45～

ひょうご 地域課題×エネルギー 実践スクールについて

戸田 幸典

(ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0) 事務局長)

※受付開始はいずれも 13 時～ ※講師のプロフィールは裏面参照

○お申し込み・問合せ先:

各回 3 日前までに、参加希望日時・氏名・所属をメール (office@hso-t.com) にて、お申込ください。

申込登録サイトから (URL (<https://goo.gl/forms/jakmsuBnofKm61Q03>)) からもお申込可能です。会場に余裕があれば、当日の飛び込み参加も可です。

定員：30名

参加費：無料

ひょうご持続可能地域づくり機構(Hs0) <http://hso-t.com/>

【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hs1)】担当：戸田、中川、霜倉
豊岡：兵庫県豊岡市千代田町 9-10

大阪：大阪府中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 10F (株) 地域計画建築研究所 (ARPAK) 内

E-mail: office@hso-t.com Tel: 06-6205-3600 Fax: 06-6205-3601

主催：ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0)

○講師プロフィール:

長瀬 雅彦氏 (たかやま林業・建設協同組合専務理事)

1961 年岐阜県生まれ。1983 年東海大学工学部土木工学科卒業。

吉井測量設計社を経て、1987 年に株式会社長瀬土建に入社、2002 年に代表取締役役に就任。

2010 年、たかやま林業・建設業協同組合専務理事に就任。各種林業技士、林業専用道技術者、森林評価士、作業道作設士、環境サイトアセッサー（土壌・水質汚染）、エコステージ評価員、ビオトープアドバイザー、自然再生士、防災士、公害防止管理者などの資格を持つ。高山建設業協会理事、名古屋林業土木協会理事、飛騨法人会常任理事、日本林業技士会中部支部副支部長、高山市森づくり委員、高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会委員（～2016 年度）、高山市地方創生に関する有識者会議委員などを歴任。

西口 重孝氏 (株式会社ジューコー 代表取締役)

制御システム、電子機器の開発設計、製作、工事を得意とする。

大阪日本橋ものづくり拠点「ROBOBA」のメンバー。

毎月一回 ROBOBA で開催しているものづくり交流会「ロボット連絡会」では運営として参加。

またその制御技術を応用したアート作品「Touchable Fountains」で 2011 文化庁メディア芸術祭 エンターテインメント部門審査委員会推薦作品、2011 アジアデジタルアート大賞展 インタラクティブ部門優秀賞を受賞。

その技術は「Founbow」噴水システムとして様々なアートイベントなどにも出展している。

ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0) とは

ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0) では、地域において、持続可能な地域づくりおよび地域課題の解決を進める担い手として、自ら事業・取り組みを立案、推進を行う「人材」及び「チーム」の持続的な育成に寄与することを目指し、活動を行っています。



全国3地区の1つとして、環境省の平成27・28年度「持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成モデル事業」の採択を契機に発足しました。

○構成団体 ※今後西播磨地域へ拡大予定

兵庫県、豊岡市、兵庫県立大学、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、(株)地域計画建築研究所 (アルパック)、及び事業パートナーとして豊岡商工会議所、豊岡市商工会、但馬銀行、但馬信用金庫、NPO 法人コウノトリ市民研究所、NPO 法人暮らしのエコをすすめる但馬の会のメンバーで構成

<これまでの沿革>

平成 27 年度	・ひょうご持続可能地域づくり人材育成機構発足 ・ひょうご持続可能地域づくり実践者育成講座スタート
平成 28 年度	・1期生修了 (20名のサステナビリティオーガナイザー (持続可能地域士) 誕生) ・ひょうご持続可能地域づくり機構へ名称変更 ・ひょうご持続可能地域づくり実践者育成講座 2期生募集
平成 29 年度	・一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI) 設立 ・2期生修了予定 (10名) ・ひょうご 地域課題×エネルギー実践スクール開校 3期生 (10名)

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (HsI)

修了した受講生と共に持続可能な地域づくりに向け、事業の具体、社会への実装を共に行って行くため、平成29年4月に設立しました。



主催：ひょうご持続可能地域づくり機構 (Hs0)